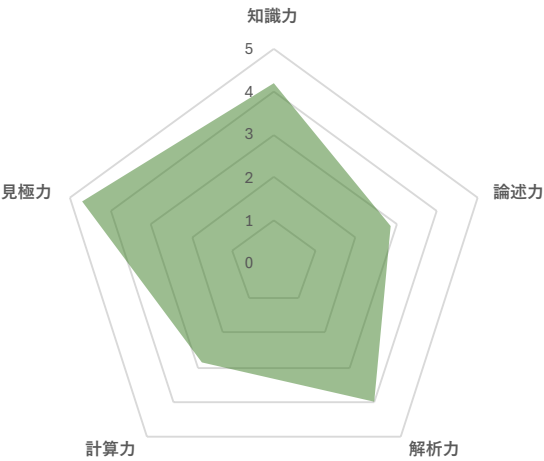


総合分析

試験区分	一般		
制限時間	60分 (理科 2 科120分)	大問数	全 5 問

合格に要する能力（5段階）

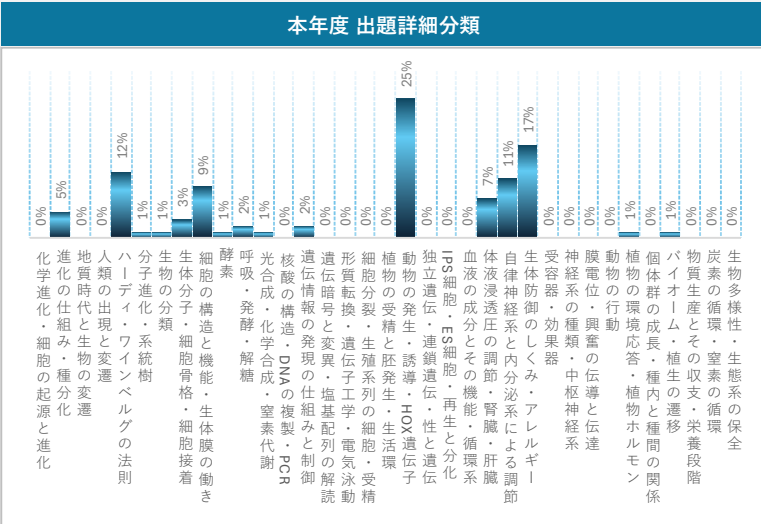


合格に要する能力（5段階）		
知識力	4.0	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	2.7	設問の指定に沿って的確に記述するか
解析力	3.8	図表データなどから分析・解析するか
計算力	2.7	式を組み立て、正しく計算するか
見極力	4.5	難度を判断し、適切に時間配分するか

特殊問題の有無	数理生物学なし	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題なし	長文論述あり
---------	---------	--------	---------	---------	--------

特記事項	特になし
------	------

出題分野		本年度出題テーマ一覧	
系統と進化	19%	第 1 問	小問集合
生命現象と物質	17%	第 2 問	進化の仕組みと遺伝子頻度の変化
遺伝子	2%	第 3 問	ウニの割球分割実験、ツメガエルの中胚葉誘導
生殖と発生	25%	第 4 問	生体防御のしくみとアレルギー、二重拡散法
生物の環境応答	35%	第 5 問	血糖濃度の調節、各組織におけるグルコース輸送体
生態	2%		
本年度 解答形式			
論述	67%	選…	答…



総合評価				
難度	3.5	最難を 5 とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想） 69%
分量	65分	完答に要する時間（制限時間は60分）	やや多い	標準

入試の特徴と対策	▶ 定石的・定型的な問題が多い。
入試から見る大学が求める学生像	兵庫医科大学の生物は「問 1 が小問集合で全範囲を網羅的に出題する」「残りの問題はテーマ性が強く分野横断の出題が少ない」という特徴がある。また、典型問題からの出題が多いものの論述問題の字数が多いため試験時間内に解答し終えるのは、かなりのトレーニングを積んでおかなければいけないだろう。自分が解ける問題を確実に得点し、その後、残った問題でさらなる得点を狙うようにすべきだろう。